

働くよろこびと 社会参加の輪を広げよう

29号

静岡県シ連だより

家事・子育て支援事業実務研修会(県シ連の企画提案事業)
80歳以上になった自分を想定したシニアシュミレーション



身体が自由がきかない高齢者体験では、身体に錘りを付けたり、特殊のメガネをかけての行動により、参加者から「財布から小銭が取り出せない」「こんなに歩行が大変とは・・階段の上り下りには参りました」などなどの声がありました。(関連記事6面)

第29号 も く じ

代表者交流会議	2
陳情、「事業仕分け」にシルバーが対象に	3
台風で中止 第12回経験交流大会	4
ラジオジャック、21年度上期の実績概要	5
家事・子育て、全国のモデルになって	6
安全パトロール	7
SSP 西条キロク 講演	8

発 行 者

(社) 静岡県シルバー人材
センター連合会

〒420-0851
静岡市葵区黒金町5番地の1
(静岡県勤労者総合会館)

TEL (054) 254-7240
FAX (054) 205-4540
E-mail shizuren@abelia.ocn.ne.jp

発行日 平成21年12月25日
発行人／大 村 脩 平
編集人／遠 藤 幸 久

代表者交流会議

平成21年12月8日(火)に静岡グランドホテル中島屋で県内シルバー人材センターの理事長等による代表者交流会議を開催。

会議では、静岡労働局の小出新治高齢者対策担当官、静岡県の三保広真雇用推進室主幹から事業仕分け結果・平成22年度の国・県の施策について説明をいただきました。

研修では「公益法人移行認定手続きの概要と施策について」と題して、公益法人協会の土肥寿員常務理事。「公益三法の概要と会計業務への影響と対策」と題して、東芝情報機器(株)の小島健伸氏から講演をしていただきました。



う意見でした。

国の結果は、◎【予算要求の3分の1程度を縮減】国庫補助が既得権になっている。また、民業圧迫の実態調査を直ちに実施。というコメントでした。

これらを受けて県シ連では、即刻臨時理事会を開催し対応策を検討し、12月3日には全国統一の政府への要望書を民主党静岡県支部に提出しました。

22年度予算編成時期にあたり、各理事長さん方は、地元の市町【企画提案方式】の積極的支援や地域に根ざした検討に取り組んでいただいております。

「事業仕分けとその後の情勢」について、協議事項として取り上げました。県の事業仕分けの結果は、【不要】◎シルバー人材センターの仕組みの意義は認めるが、若年者が税金で運営費を負担すべきか、NPOもあるのにこれまでも同じやり方ではないのか、根本的な議論が必要という

事務局長研修会

11月19日(木)に県内36シルバー人材センターの事務局長が出席して、静岡労働政会館で研修会を開催。

研修テーマは①「新公益法人制度の概要」で県総務部法規室の小澤剛主査と増田晴司主査から。②「事故発状況と安全就業のキーワード」と題して全国シルバー人材センター事業協会の徳永士朗課長と安食照泉安全・適正就業推進員から講義を受けました。

また、会議では【県・国の事業仕分け】による今後のシルバー人材センターへの影響等について広範の角度から意見交換されました。

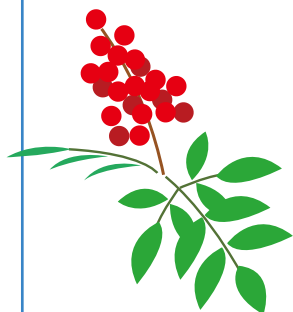
「公益法人移行」についても事業仕分けのこともあり移行すれば良いという簡単なものでないとの意見が多数出ていました。

訃報

故海老名午二氏

(伊豆市シルバー人材センター理事長)

平成21年12月3日にご逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げます。





陳情

シルバー活動へのご理解とご支援を
平成21年9月28日(月)に、静岡労働局・
静岡県議会・静岡県商工労働部・市長会・町
村会へ要望行動

県シ連の大村脩平会長(伊東市センター理事長)、森
竹武人副会長(静岡市センター理事長)、桐田功副会
長(掛川市センター理事長)と遠藤幸久常務理事(県
シ連局長)は、静岡労働局では新宅友穂局長(写真)、
静岡県議会の堀江龍一副議長、静岡県の堀川知廣産業
部長、市長会・町村会の専務理事に、シルバー人材セン
ター事業のご理解と補助金をはじめとする各種の支
援を求めました。

また、各センターで
は、理事長・事務局長
が市長、町長および議
会に「陳情文」ととも
に地域に根ざしたシル
バー人材センター活動
の実績と課題を説明
し、さらなる支援を要
望しています。

国・県の「事業仕分け」で取り上げられたシルバー人材センター

シルバー人材センターは運営費、職員人件費等の一部を国・県からの補助金で賄っていることから、この度の《事業仕分け》の対象事業として取り上げられ、厳しい評価を受けました。

仕分けメンバーの声としては、シルバー人材センターの制度への理解はあるが、30年の間に自立する仕組みを構築することをしなかったことが問題であると指摘されました。

仕分けの結果、県は「不要」・国は「1/3程度の予算縮減」という厳しいものでした。しかし、シルバーの現制度には補助金が不可欠であり、制度改革をせず補助金を削減するのは無謀という声があがっています。

都道府県シルバー人材センター連合会では、「事業仕分け」を受けて《【活力ある高齢社会】の実現に向けたシルバー人材センターへの支援を47名の会長連名により国へ要望》

- ①国の高齢者施策を担うシルバー事業。
- ②補助金の減額はシルバー事業の存廃と会員への配分金の減額につながる。
- ③民業と共存してきたシルバー事業。
- ④来るべき労働力不足の社会を支えるシルバー人材センター。

など。

本県は、12月3日(木)に、大村脩平会長(伊東市sc理事長)、遠藤幸久常務理事は都道府県会長連名による要望書を携えて民主党静岡県支部にシルバー人材センターが地域社会に貢献する事業の取り組み及び高齢者の生きがい対策として存在意義を説明し、国における支援を強く求めました。

台風12号の直撃で中止

しずおかシルバー人材フェスタ

2009年10月8日

第12回経験交流大会

自主自立、共働・共助ですこやかに

静岡県シルバー人材センター連合会(会長 大村脩平・伊東市SC理事長)と県内全市町のシルバー人材センターでは、平成21年10月8日(木)に菊川市民文化会館【アエル】で、「しずおかシルバー人材フェスタ2009」と命名した第12回経験交流大会を開催すべく着々と準備を進めました。しかし、いざ本番という段階になって「超大型台風12号」本県に上陸との予報が出て、大村会長、遠藤常務らが前々日から天気図等をこまめに収集し、サークル発表や作品展示等々に練習や訓練された会員のことを思い「開催したい」気持ち揺れ動く中で2日前の10月6日に中止を決定しました。当日の天気は荒れに荒れて「中止」して良かったと胸をなでおろしていました。

幻となってしまうた開催計画の一部を紹介します。

この大会のねらいは、シルバー人材センター事業は世界に類のない高年齢者就業促進事業で



昨年度(平成20年10月2日)の大会風景

あり、今後ますます高齢化が進む社会の活力を維持するためには、創意、工夫、模索の中から地域のニーズに合い、高齢者の生きがい創りに貢献できる事業展開と運営によって、さらに発展させることが求められています。このため、県内シルバー人材センターの優れた事業及び運営の事例について互いに学び、情報交換することにより、一層の発展を図ろうとするものです。

来賓としてご臨席くださるご予定であった方々です。厚生労働省静岡労働局から岩本俊也局長、小出新治高齢者対策担当官、副市長、静岡県から松浦俊明中部地区支援局長、岡村昇雇用推進室主幹。また、三重県、岐阜県シルバー連合会からもご臨席いただく予定でした。

当日は、大会式典、記念講演、活動事例発表、サークル活動発表、作品展示・即売と盛り沢山の行事がスムーズに執り行われ、シルバー人材センター「ここにあり」と大いに盛り上がる予定でした。

記念講演「笑いの健康」

講師は、浜松市出身の落語家「瀧川鯉昇(たきがわりしょう)」師匠。

活動事例発表

事例発表を計画された両SCの内容はもとより、先端技術(パソコンとプロジェクター、映像の編集)等にも関心が寄せられていただけに残念でした。

「学校環境保全業務について」

(社)熱海市SC 理事 多田信夫さん

「JR駅前駐輪場の運営について」

(社)袋井・森地域SC 駐輪場管理職域班

世話人 鳥居秋雄さん

世話人代理 鈴木貞司さん

サークル活動

各センターでは、会員同士の交流と親睦等を図るため、さまざまなサークル活動を展開しています。今回は5センターからハーモニカ演奏、コーラス、おどり等の12演目が発表される予定でした。それぞれのメンバーでは、この日の為に特訓を重ねていましたし、衣装を新調されたりしたと聞いています。

作品展示と即売

展示会場では、22センターから会員の皆様が腕によりを掛けて作成した700種類余の作品が展示・即売される予定でした。

その作品も年々様変わりし、新技法や、省エネ、環境関連等に挑戦されてきていただだけに非常に残念でした。

ラジオジャック

シルバーフェスタ当日は、SBSラジオを一日中ラジオジャックして、会場から・スタジオからの生中継でシルバーの心意気を県内一円にPRすることができませんでした。

しかしながら、当日(10/8)の早朝<7:35～8:35(取れたてワイド),9:30～9:45(中村こずえのsmile for you)>に県シ連の大



村脩平会長が伊東市で電話インタビューに出演。その後次の方々が出演されました。

《生放送に出演し、シルバーのPR。遠藤県シ連局長(写真右)SBSスタジオにて》

10月15日(木) 13:40～13:50 子育て支援活動

裾野市シルバー 事務局次長 田中 久子 さん

10月19日(月) 15:20～15:30 庭木の手入れ、炭作りなどなんでも活動

牧之原市シルバー 常務理事兼事務局長 今村 隆行 さん

10月20日(火) 10:20～10:30 サークル活動PR(踊り、手芸品、麻雀など)

菊川市シルバー 事務局係長 中野 順子 さん

10月21日(水) 11:35～11:45 補習教室(ラーニングセンター)活動

浜松市シルバー 浜北事務所 責任者 鈴木 静夫 さん

10月28日(水) 15:20～15:30 シルバー事業普及啓発月間を顧みて

県シルバー連合会 常務理事兼事務局長 遠藤 幸久 さん

平成21年度上期(4～9月)の実績…減少が目立つ!!

1. 会員数は、前年度末から936人増の23,202人。

18・19年度と会員数は減少していたが、各センターの会員増強運動で入会者2,873人、退会者1,488人で、今期は男性会員の増加が目立っています。

増加したセンターは22、減少したセンター13と増加したセンターが多くあります。

2. 受注件数は、68,100件で前年同期比71件の減

3. 契約金額は、約55.1億円で前年同期比3億6千万円の減

4. 就業実人員は、17,583人で前年同期比56人の減

5. その他 ①就業会員一人あたりの就業日数は、1カ月あたり11.4日。

②就業会員一人あたりの契約金額は、1カ月あたり52,280円。

と日数で0.5日減、契約金額で3,274円の減でした。

会員数(H11.9.30)			契約件数(件)			契約金額(千円)			就業実人員(人)
男性	女性	計	公共	民間	計	公共	民間	計	
15,503	7,699	23,202	4,670	63,430	68,100	1,262	4,252	5,515	17,583

家事・子育て支援

静岡県シルバー人材センター連合会では、平成22年度末までに、県下の36センターすべてが「家事支援事業」並びに「子育て支援事業」に取組むための研修会をシルバー会員を中心に開催しています。

本年度は、家事支援事業が22シルバー人材センター・地域で550名の参加を目標に実施し、年明けの東部地区研修で終了します。

また、昨年度の内容に擬似体験・事例検討とワークショップ等を加えての開催で、参加者は日中【私が主役】と張り切って研修していました。



身体に重り

を付けたり、特殊のメガネをかけてのシニア体験では、参加者は「こんなに歩

行が大変とは：階段の上り下りには参

りました。」

「目が不自由でねらいを定めた物に触れる

ことが出来ない。」

「自動販売機に投入する小銭が財布から取り出しにくい」などなどの声がありました。

また、いろいろな事例を取り上げ、参加者それぞれが考える支援（対策）を発表し、依頼者が要請しているものの捉え方や対応の仕方などを各会場でグループ討議が展開されました。

年が明ける1月からは子育て支援事業の実務研修会を開催することとしております。

この研修は東部・中部・西部の3ブロックで、会場3日間です。多くの会員の方の参加をお願いします。

研修会を開催することとしております。

この研修は東部・中部・西部の3ブロックで、会場3日間です。多くの会員の方の参加をお願いします。

研修会を開催することとしております。



全国のモデル

「家事援助サービスと地域貢献」

遠藤幸久県シ連事務局長が東京で講演

全国シルバー人材センター事業協会では、福祉・家事援助担当者研修会を11月26日に開催。

この研修会で、静岡県シ連の遠藤幸久事務局長が静岡県で実施している「家事援助・子育て支援事業」の取組み等について講演されました。

シルバー人材センターの行っている家事援助事業は、地域社会に貢献する取り組みとして、また、地域に信頼される団体として存在感を高めることなどを強調され、参加者一堂の関心をよんでいました。



気のゆるみ 慣れと油断が 事故のもと

全国統一スローガン

安全パトロール

安全適正就業委員会(委員長:桐田功)連合会副会長、掛川市SC理事長)では、パトロール先のセンターでの安全・適正作業への取組み(対策)状況を就業現場に出かけて把握するとともに、今後の活動等について各センターの安全委員らと意見交換をしました。

12月9日(社)掛川市シルバー 掛川花鳥園 森林果樹公園・ゆうゆうパーク



就業現場で、服装・就業状況の確認・用具の点検・整備・合図・連絡・健康状態(体調)等をチェックしている委員

12月10日(社)静岡市シルバー 草薙総合運動場・日本平動物園

12月15日(社)三島市シルバー イトーヨーカドー三島店・菰池公園

安全・適正就業巡回訪問では、服装や装備の不備の指摘はありませんでした。掛川市シルバーの一般道にかかる剪定作業においては、「剪定作業中」の看板やコーン、シートの配置も良く、安全に留意して作業していました。静岡市シルバーでは、全作業を覚えるまでに数年を要する専門的技能を必要とするグラウンドの芝管理でも、多職種に渡りできる会員が担当したりしてローテーション交替を決められているとのこと。三島市シルバーのカートの管理は、広い駐車場をたいへんフットワークよく、顧客の安全管理にも注意して作業していました。また、カートの運び方も各々がロープなどを使って上手に工夫していました。

刈払機取扱講習会

県シ連では、刈払機取扱取扱作業員に対する安全教育にかかる講習会を各シルバー人材センターの協力のもと伊豆市、静岡市、浜松市の3会場で開催しました。

講師は、林業労働災害防止協会静岡県支部



の専門家。内容、刈払機使用、点検・整備に関する「知識」「実技」「関連法規」で、修了者148名に【刈払機作業員安全衛生教育修了証】が交付されました。

委員名簿

委員長 桐田 功

(県シ連副会長、掛川市SC理事長)

副委員長 黒柳 榮二

(県シ連理事、島田市SC理事長)

委員 岩崎 豊

(県シ連理事、沼津市SC理事長)

委員 落谷 芳男

(伊豆市SC事務局長)

委員 紅林 均

(静岡市SC事務局長)

委員 横山 静雄

(菊川市SC事務局長)

事務局 望月 さつき

(県シ連 安全担当職員)

月日	会場協力センター	修了者
10/30	伊豆市シルバー	100名
11/ 5	静岡市シルバー	15名
11/12	浜松市シルバー	33名

輝けシニア!チャレンジセミナー

SSP(シニア就業支援プログラム)事業

西條キロクの演歌で元気!!

“歌は心の癒し”キロク先生の楽しいお話とカラオケ講座で、シニア世代よ!心身元気を出して働こう!と企画された講習会には、3会場で申込者400余名ありました(会場の都合により実来場者は271人)。

浜松会場 12月1日(火) プレスタワー静岡新聞ホール 117名

静岡会場 12月2日(水) グランシップ 100名

沼津会場 12月9日(水) サンフロント 54名

来場者の状況

性別 男性 35% 女性 65%

年齢 55-59歳 9% 60-64歳 29% 65-69歳 34% 70歳以上 28%

参加者の90%以上の方がセミナーに参加して「良かった」と答えていました。



離職中または離職が予定されているという境遇の中で、精神的にも落ち込んでいるシニアの方々に、歌唱特に演歌を題材に取り上げることで心身ともに元気になっていただき、今後の社会活動への参加する意欲の高揚を図る目的で開催しました。

講師のキロク先生は、これまでの自分の人生を振り返り、作曲家として大成するまでを支えた「仕事に対する哲学」を語られ、シニアの方々に勇気と感動を与えてくれました。

また、新たに事業への参加登録者を募るという目的に対し、当日の参加申込書の受付は23名であったが、アンケートで「登録したい」、「登録を検討する」が合わせて83名あり、その方々へ継続してお勧めすることにより今後の増加が期待できます。加えてSSP事業について「内容が理解できた」と「もっと詳しく内容を知りたい」が89%となり、登録の予定のない方でも事業を理解してしてもらえたことから周囲の人たちへの波及効果に期待がふくらみました。